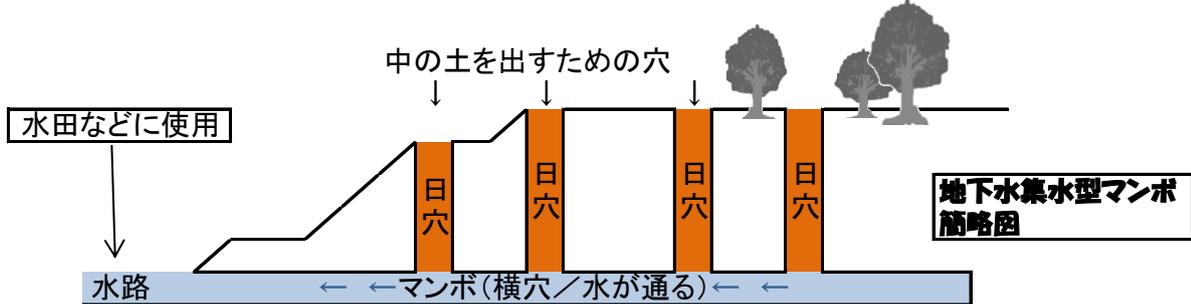


# 「マンボ」って何だ？

●マンボとは・・・

三重県北勢地方に見られる独特の灌漑方式です。水の乏しい場所に素掘りのトンネルを作り、側面や天井からにじみ出る水を集水する「地下水集水型」や、水源との間に地形的障害があるときに使う「導水型」があります。四日市市では「地下水集水型」が圧倒的に多くみられます。

地下水集水型のマンボは、中国のカレーズ、イランのカナートなどの灌漑施設と酷似し水利技術的には全く同一のものですが、日本では自創的に開発されました。



●用途

マンボは、畑地や荒地を水田化する際に多く用いられます。以前は飲料水としても使用され、平成初期においては一部洗濯や野菜洗いなどにも使用されていました。

その初めは、江戸末期から明治維新にかけての武士の帰農の際、水田を拓いたおりの水不足に対処したものだということです。施工の指導は亀山、桑名旧藩士および地元の人々が関わっていました。

四日市市においては、大規模なもので11か所存在し、新しいものでは大正時代に作成されました。現在も一部のマンボは、様々なかたちで使用されています。(例:保曾井神社「お宮さんの水」など)

↓ ↓ ↓ 以下の資料でマンボについて詳しく調べることができます。 ↓ ↓ ↓

タイトル	著者	出版社	出版年	分類番号
マンボ—日本のカナート—	小堀 巖	三重県郷土資料刊行会	1988	L61
三重用水史	三重県用水史編集委員会	三重県	1993	L614/93
よっかいちの自然 第2集	「よっかいちの自然」編集委員会	四日市市環境部環境木理	2019	L402/19
四日市市史研究 第4号		四日市市	1991	L223/4
四日市市史 第1巻		四日市市	1990	L223/1
四日市市史 第5巻		四日市市	1995	L223/5
かんざき風物詩	かんざき風物詩編集委員会		2012	L223/神前/12
川島町の民俗		四日市市	1991	L382/川島

四日市市では見られない！

## いなべ市の「マンボ祭り」

「マンボ」を祀る行事がいなべ市大安町にあります。先覚の偉業を称え水利の安全を祈願するため片樋地区の大神社にて毎年7月1日に開催。片樋のマンボはいなべ市の無形民俗文化財に指定されています。同様の祭りはいなべ市の北勢町中山などでも行われていますが、四日市市ではこのような祭は見当たりません。

タイトル	著者	出版社	出版年	分類番号
大安町史 第2巻	大安町	大安町	1986	L22/86/2
水社会の憧憬 マンボが語る景観	春山成子	古今書院	2014	L614/14